

記念切手で振り返る戦後昭和 (STAMP-SHOW in かがしま出品予定作品より)

永吉 秀夫

昭和百年にちなんで、こういう作品を展示します。膨大な量の記念切手も、「当年のみの行事の記念切手」に限定するとこんな感じになり、戦後昭和の全体を36リーフで振り返ることができます。

昭和28

1953

皇太子殿下御帰朝

1953. 10. 12



半年にわたった皇太子明仁(平成天皇)の外遊を記念して帰国日に発行。5円は葉書料金。

昭和29

1954

スピードスケート世界選手権

1954. 1. 16



日本国際見本市

1954. 4. 10



レスリング世界選手権

1954. 5. 22



昭和30

1955

国際商業会議所総会

1955. 5. 16



わが国で初めてグラビア多色刷りが採用された切手で、以後記念切手を中心に、切手の多色化が一気に進んだ。

切手趣味週間

1955. 11. 1



切手趣味週間の切手は、この年からグラビア多色刷りで毎年発行されるようになった(本展示では省略)。

国立公園や国宝などのシリーズもの、年賀や趣味週間などの恒例もの、〇〇百年というような周年記念、各種小型シートなどはバツサリ省略しました。ただし趣味週間や国体などを全部省略するのは忍びないので、初回など特別な年だけ含めました。

ご覧のように年を明確に区切ってみました。これによって、この年にはこんなことがあったなあ、と振り返ることができるのではないのでしょうか。

昭和31

1956

世界卓球選手権

1956. 4. 2



世界こどもの日制定

1956. 5. 5



世界柔道選手権

1956. 5. 3



子供のお小遣いでも買えるようにとの配慮から葉書額面のみでの発行。

マナスル登頂

1956. 11. 3



佐久間ダム竣工

1956. 10. 15



東海道電化完成

1956. 11. 19



特別塗装の特急「つばめ」による東京・大阪間7時間半運転が開始。2年後には電車特急「こだま」も登場。

日本機械巡航見本市

1956. 12. 18



昭和32

1957

国際地球観測年

1957. 7. 1



昭和基地での観測もこの年に開始し、今日まで継続。

国際連合加盟

1957. 3. 8



小河内ダム竣工

1957. 11. 26



原子炉竣工

1957. 9. 18

